

富士フイルムグループが目指す姿

富士フイルムグループは、2017年8月に長期CSR計画「Sustainable Value Plan 2030 (SVP2030)」を発表しました。2030年度をゴールとする長期目標であり、富士フイルムグループが持続的に発展していくための経営の根幹をなす計画です。このSVP2030の下、2024年4月に公表した中期経営計画「VISION2030」の重点施策を推進し、サステナブル社会の実現にさらに貢献する企業を目指しています。

VISION2019

事業ポートフォリオの強化と 次なる飛躍への基盤を構築

5	売上高	2兆3,151億円
È	営業利益	1,866億円
	GHG排出削減* 2013年度比)	25%

VISION2023

ヘルスケア・高機能材料の 成長加速と持続的な成長を 可能とする事業基盤の構築

売上高	2兆9,609億円
営業利益	2,767億円
ROE	8.2%
ROIC	5.6%
GHG排出削減* (2019年度比)	15%

VISION2030

世界TOP Tierの事業の集合体として、 世界を一つずつ変え、さまざまなステー クホルダーの価値(笑顔)を生み出す

売上高	4兆円
営業利益率	15%以上
GHG排出削減(2019年度比)	50%
ROE	10%以上
ROIC	9%以上

サステナブル社会の実現

Value from Innovation

グローバル規模の環境・社会の課題を <u>"イノベーション"で</u>解決する

事業を通じて、社会にポジティブなインパクトを与える

ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、 社会の期待に適切に応える

> 長期CSR計画 SVP2030

> > 売上高 **4兆円** (目標)

2011 2019 2023 2030